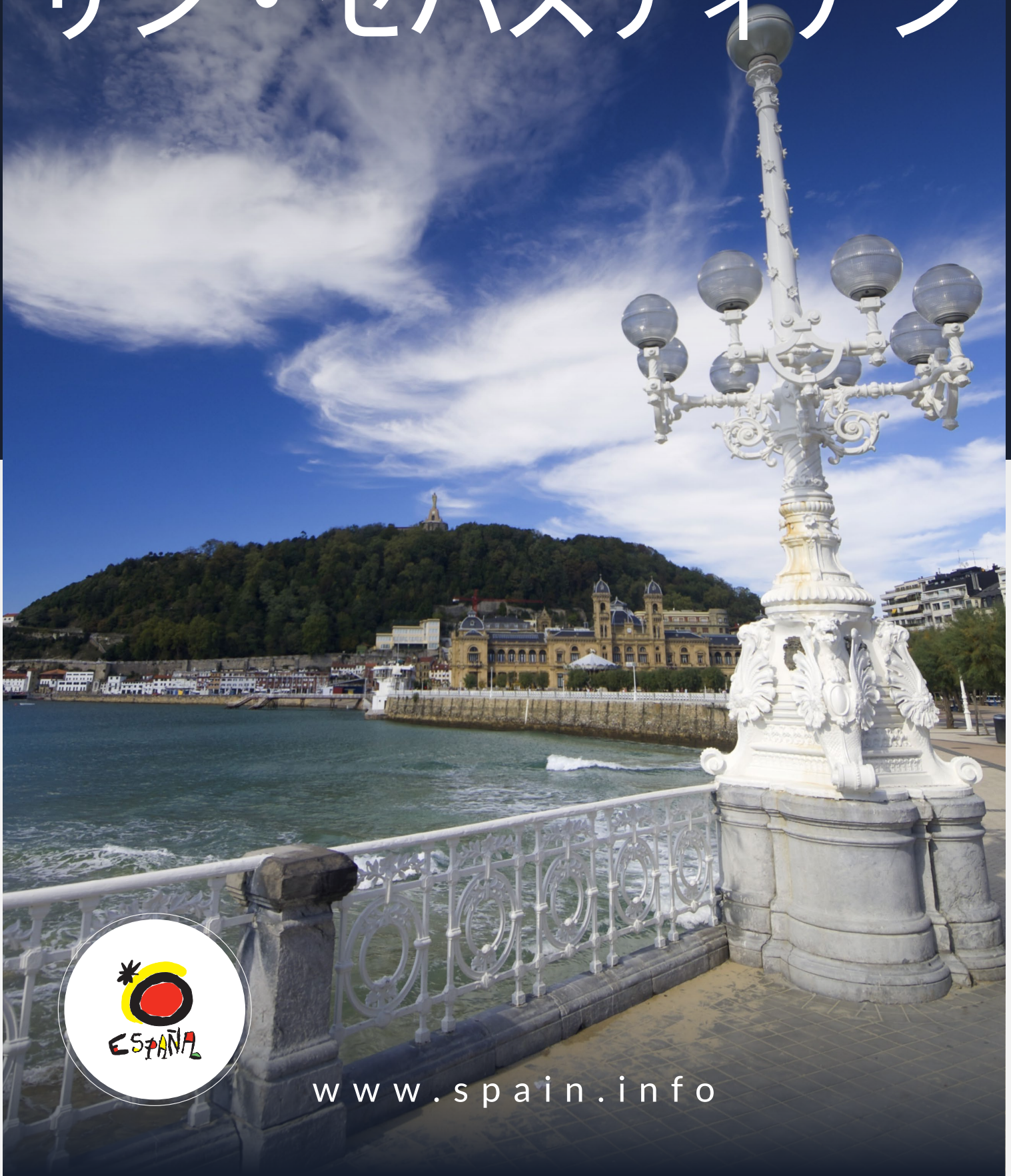


ドノステイア/ サン・セバスティアン



www.spain.info



ピンチョ

産業観光省
出版元: © Turespaña
作成: Lionbridge
NIPO: 086-17-059-4

無料頒布

このパンフレットの内容は細心の注意を払って作成されています。もし誤りがございましたら、改善のために brochures@tourspain.es までメールでお知らせくださいますようお願いいたします

裏表紙: ペイネ・デル・ビエント(風の櫛)
写真: pabkov/123rf.com

目次

はじめに	3
ドノスティア/サン・セバスティアン の地区	4
ピンチョス、ファッション、 歴史の詰まったセントロ地区と旧市街 若者とサーファーが集うグロス地区 オンダレタ地区とイゲルド地区： 家族で楽しむドノスティア/ サン・セバスティアン アマラ地区とアノエタ地区： 穏やかなウルメア川沿い サンタ・クララ島	
見逃せない5つの美術館・博物館	7
サン・テルモ博物館 歴史博物館 バスク海洋博物館 エウレカ！サン・セバスティアンの 科学博物館 サン・セバスティアン水族館	
食文化	8
ドノスティア/サン・セバスティアン の四季	8
夏 秋 冬 春	
自然を感じる	10
街の隠れた名所	11
公園と庭園 モニュメント 展望台	
ドノスティア/サン・セバスティアン の夜を楽しむ	12
ドノスティア/サン・セバスティアン周辺 のおすすめスポット	12
コスタ・バスカ(バスク沿岸部) オンダリビア - フェンテラビア (ギプスコア県) ビトリア-ガステイス リオハ・アラベサ バレンシアガ博物館 サガルドエチェア・シードル博物館 チジーダ・レク美術館	
アクセス	14
列車 飛行機 自動車 ドノスティア/サン・セバスティアン での移動手段 ドノスティア/サン・セバスティアン の観光案内所	

はじめに

食文化や芸術、ビーチ、文化にとどまらない、多くの魅力を秘める街、サン・セバスティアン（バスク語でドノスティア）。カンタブリア海沿岸に広がるグリーンスペインと呼ばれる地域の中でも、ひと際美しい輝きを放つ街です。

食べるのが好きな人なら、立ち寄りずにはいられない港町でしょう。ミシュランの星の獲得数や豊かな郷土料理により、ドノスティア/サン・セバスティアンは今や、バスク料理を語る上で必要不可欠な地位を築いています。一方で、この街の食文化の心とも言えるのがピンチョです。薄切りのパンに乗せたおつまみを、爪楊枝(ピンチョ)で刺してまとめたフィンガーフードは、伝統的なものから、洗練されたものまで、そのバリ

エーションはさまざまです。カウンターに並ぶすべてのピンチョを試してみたいくなることでしょう。

ドノスティア/サン・セバスティアンはまた文化を感じる街です。この街の遺産である建築物には、伝統と革新の両方が融合しています。地区によって異なる雰囲気を感じ、ホスピタリティ精神あふれる地元の人と触れ合ってみましょう。

白浜が輝くビーチで、日光浴をしたり、海岸をゆっくり散歩してみましましょう。複数あるビーチでは、それぞれ特徴的な体験ができるでしょう。自然に囲まれた街にアクセントを添える山々の頂上からは、美しい景色が広がります。

毎年9月に開催される国際映画祭も多くの観光客を魅了しています。

▼ 「空の構築」、オテイサ

北スペインを代表する美しい街へ、今すぐ出かけませんか。





▲ 海沿いの遊歩道
コンチャ湾のビーチ
© Donostia San Sebastián Turismoa

VIVE DONOSTIA/サン・セバ ティアンの地区

この街を地区ごとに見てみましょう。その中にはそれぞれ特徴がある3つの素晴らしいビーチエリアもあります。

ピンチョス、ファッション、 歴史の詰まったセントロ地区と旧市街

コンチャ湾に沿うように延びるラ・コンチャ遊歩道は、この街のシンボルです。海沿いを散歩やサイクリングをして過ごしたり、遊歩道を彩る、装飾が美しい手すりに身をもたせて湾を眺めてみましょう。

海岸沿いを散策したら、腹ごしらえに旧市街へ繰り出します。石畳の旧市街に着いたら、ティキテオに挑戦しましょう。これは、ティキートと呼ばれる小グラスのワインを片手に、ピンチョを食べながらバルをはしごする、この街の習慣です。タンボラーダなどの祭りの舞台となる街の中心地コンスティトゥシオン広場(憲法広場)に立ち寄れば、人生を楽しむ地元市民のエネルギーを体感できるでしょう。

ロマンチックな雰囲気のあるベル・エポック様式の建物や、街路樹に彩ら

れた遊歩道があるエリアを散策してみましょう。ブエン・パストール大聖堂やビクトリア・エウヘニア劇場をはじめ、1924年にカジノが禁止されるまでグラン・カジノが置かれていた市庁舎などの美しい建造物に立ち寄るのもおすすめです。



▲ サンタ・マリア・デル・コロ教会

若者とサーファーが集うグロス地区

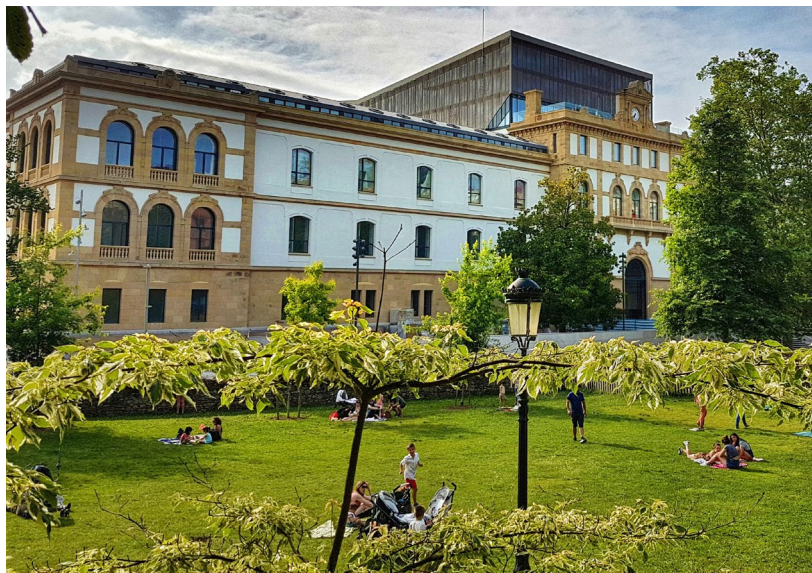
スポーツと自然を満喫するのにぴったりの地区です。スリオラ・ビーチの近くにある、若さと活気にあふれる国際色豊かなこの地区では、サーフボードを抱えたサーファーたちがテラスや魅力たっぷりのショップの間を行き交います。サーフィンを楽しむには、絶好のビーチです。

ウリア山に登り、山の自然を満喫するのもよいでしょう。ドノスティア/サン・セバスティアンで一番人気のハイキングスポットで、世界遺産に登録されたサンティアゴ巡礼路も通っています。

文化に触れるなら、アート・ギャラリーに立ち寄ったり、クルサール国際会議場やタバカレラ (現代美術国際センター)を訪ねてみましょう。

ドノスティア/サン・セバスティアンを家族で楽しめるオンダレタ地区とイゲルド地区

イゲルド山とミラマール宮殿の庭園は、街の象徴かつファミリーに人気のオンダレタビーチのそばに立っています。このビーチの西端には、彫刻家エドゥアルド・チジーダの名作『ペイネ・デル・ビエント』(風の櫛)が佇んでいます。海の轟く音と鉄彫刻の力強さが見事に融合したその姿に圧倒されることでしょう。ここから眺める夕暮れもまた格別です。



▶ グロス地区のスリオラビーチ

▶ タバカレラ(現代美術国際センター)
© Donostia San Sebastián Turismoa

▶ ペイネ・デル・ビエント(風の櫛)
© Donostia San Sebastián Turismoa

オンダレタ・ビーチの東端には、英国調の壮観なモニュメントであるミラマール宮殿とミラマール庭園があり、ここからコンチャ湾を一望することができます。海へと続く花に囲まれた歩道を散策してみましょう。

ケーブルカーでイゲルド山を登り、街を代表する眺望を見に行くのもよいでしょう。ここには、家族で一日を過ごすことができる遊園地もあります。

海辺に広がるアンティグオ地区には、ピンチョを楽しめるバルやレストランが集まるエリアがあります。

ウルメア川沿いは落ち着いた
雰囲気のアマラ地区やアノエタ地区

ウルメア川に沿ったフランシア通りには気品あふれる邸宅が立ち並び、ゆったりと散策やサイクリングを楽しむのに最適です。街の入口に位置する住宅街で、中心地までのアクセスに便利なホテルがたくさんあります。

ドノスティア/サン・セバスティアンのサッカーチーム、レアル・ソシエダのホームスタジアムであるアノエタ・スタジアムや、創立100年を超えるチームの歴史を紹介するレアル・ソシエダ博物館を訪れてみるのもよいでしょう。

サンタ・クララ島

コンチャ湾の中央には、サンタ・クララ島が浮かんでいます。モーターボート、もしくは泳いで島まで行くことができます。島の西側にある、テラス付きのバルで海の眺めを満喫しませんか。





見逃せない5つの 美術館・博物館

▲ サン・テルモ博物館

ドノスティア/サン・セバスティアンには、歴史や科学、彫刻など様々な文化に触れられる美術館や博物館があります。おすすめの美術館・博物館をいくつかご紹介します。

サン・テルモ博物館

旧市街にある16世紀の建物を利用したこの博物館では、ルネッサンス様式の内庭回廊に目を見張ることでしょう。民族学や芸術、考古学の展示に加えて、エル・グレコやルーベンス、フォルトゥーニ、ソローリャ、スロアガの作品を鑑賞することができます。

バスク海洋博物館

旧商事裁判所が置かれていた18世紀の塔建物に位置するこの博物館は港にあり、バスク人と海の関わりの歴史を紹介しています。

エウレカ！ 科学博物館

170種類の実験型モジュールを使って、科学の楽しい側面に迫りましょう。アニマリアという動物展示スペースでは、生態にそって生き物を観察することができます。

歴史博物館

ウルグル山の頂上に立つモタ城内に併設されているこの博物館では、ドノスティア/サン・セバスティアンの歴史を知ることができます。

サン・セバスティアン水族館

バスク州でビルバオのグッゲンハイム美術館に次ぐ入場者数を誇る博物館です。ここでは40種を超える生き物たちに出会うことができ、5種類のサメを間近に見ることができます。

▼ MUSEO ACUARIUM DE SAN SEBASTIÁN



グルメ

1月から4月にかけては、この地域の伝統的なチョッツと呼ばれるシードル（りんご酒）の樽出しの時期となります。シドレリア（りんご酒醸造所）では、大樽から直接注いだその年の新酒を、郷土料理とともに振る舞ってくれます。

忘れてはならないサン・セバスティアンの名物といえば、ピンチョスです。さまざまな具材を爪楊枝でまとめたフィンガーフードが好きな人にとって、この街はたまらない美食都市でしょう。旧市街を中心に、街のいたる所にピンチョスを楽しめるバルがあります。バルをはしごしながら、店の自慢の一品を食べ歩くのがピンチョスの楽しみ方です。伝統的なピンチョスから、高級料理をミニチュアにしたような洗練されたものまでがあります。

前衛的なレストランに足を運んでみるのもよいでしょう。ドノステリア/サン・セバスティアンやその周辺地域には、アンドニ・ルイス・アドゥリスや、ペドロ・スビハナ、フアン・マリ・アルサック、マルティン・ベラサ

テギのような、世界的に有名なシェフが腕を振るうレストランが集結しています。サン・セバスティアンは、1㎡あたりのミシュランの星数が世界最多を誇る街のひとつです。

食に関するアクティビティの数も豊富で、料理教室や生ハムカット教室をはじめ、酒蔵や市場巡りなどさまざまな体験があなたを待っています。

サン・セバスティアンが食の分野において、これほどまでに卓越している理由のひとつは、良質な食材があります。ブレチャ市場やサン・マルティン市場などに代表される街中の市場には、地元で生産・水揚げされた旬の食材が並びます。地元の人はもちろん、新鮮な肉や魚などを仕入れに訪れるこの街の有名シェフたちの姿を見かけることもあるかもしれません。

ドノステリア/サン・セバスティアンでは、どの街角を訪れても、食べる喜びを感じることができます。

ドノステリア/サン・セバスティアンの四季

一年を通してさまざまなアクティビティが開催される街、ドノステリア/サン・セバスティアン。そのいくつかをご紹介します。

夏

8月15日の週にこの街を訪れると、セマナ・グランデ（夏祭り）のはじまりを告げる大砲の音を耳にすることでしょう。お祭りムードに沸き立つ街中では、コンサートやパレード、展

覧会、花火大会など、さまざまなイベントを楽しむことができます。

7月の後半は、ビーチや劇場、コンサートホールを舞台に開催されるドノステリア Jazzaldía 国際フェスティバルでジャズに酔いしれましょう。

秋

9月はお祭り満載の月です。有名なトライネラ・ポートレースのバンドラ・デ・コンチャ（コンチャの旗）が催されるバスク祭り、そして一年で最も国際色豊かなイベント、サン・セバスティアン国際映画祭が開催されます。各国の映画スターがレッドカーペット上を歩き、老舗ホテル、マリア・クリスティーナに宿泊します。早目に予約をすれば、式典や上映会に参加することもできます。

10月末にはドノスティア/サン・セバスティアンで開催されるもうひとつの催し、ファンタジー・ホラー映画ウィークが開幕します。

冬

1月20日は太鼓のリズムに乗って、サン・セバスティアンの守護聖人を祝福する太鼓祭り(タンボラーダ)が開催されます。125を超えるグループが歌と踊りで祭りを盛り上げるその様子はまさに圧巻です。

画期的な芸術表現の極みを見たいなら、3月に開催されるDferia舞台芸術祭を是非お見逃しなく。

春

5月、春の訪れとともにドノスティア/サン・セバスティアンの公園や遊歩道は美しい花々で彩られます。春の色彩に囲まれながら、街のあちこちの公園で開催される野外コンサートの催しムシカ・パルケアンやアルゼンチンのリズムで踊るタンゴフェスティバルを楽しみましょう。



自然を感じる

ドノスティア/サン・セバスティアンには、自然を身近に感じることができるスポットが数多くあります。

アルティクツァ自然公園のガイドツアーに参加すれば、木々が生い茂る自然の宝庫をより満喫することができます。紅葉する色とりどりの木の葉が美しい秋がおおすすめの時期です。

イゲルド山の山頂からコンチャ湾の壮観な眺めを一望しましょう。ケーブルカーで山に登って、レトロな遊園地を訪れるのもよいでしょう。

ウルグル山の山頂では、美しい眺望に加えて、歴史博物館や城壁跡、大砲など、軍事都市としての街の面影に触れることができます。

かつて沿岸に近づくクジラを監視するための見張り塔が置かれていたウリア山は最近人気のサン・セバスティアンのハイキングスポットです。ピクニックに出かけ、ビジターセンターを見学してみませんか。



街の隠れた名所

観光地をひと通りめぐったら、ドノスティア/サン・セバスティアンの隠れた名所へ足を運んでみましょう。あまり知られていない一画へご案内します。

▲ マリア・クリスティーナ橋
© Donostia San Sebastián Turismoa

公園と庭園

ウルメア川に架かる優美なマリア・クリスティーナ橋を渡り、クリスティーナ・エネア公園の遊歩道をゆったり散歩しましょう。異国情緒漂う木々や白鳥、孔雀に出会うことができる、街中のオアシスです。

ミラコンチャの隠れた庭園は、コンチャ湾とミラコンチャ遊歩道の間にあるために見落とされがちですが、ベンチに腰下ろしてゆっくりと眺めを楽しむのにおすすめの場所です。

ウルグル山の山頂には、この街の神秘的な一画として知られる英国人墓地があります。

市役所の前には、アルデルディ・エデル庭園があり、花々とタマリンドの樹がこの街ならではの景観をつくりだしています。

モニュメント

ドノスティア/サン・セバスティアンにはここでしか出会うことのできない風景があります。アイエテ地区では、19世紀の洗練された趣を残すアイエテ宮殿を訪れましょう。名高い王侯貴族らが暮らした部屋を見学することが

できます。橋や池、海を臨む広大な芝生が美しい庭園は散策に最適です。

サン・ビセンテ教会もおすすめです。バスク地方のゴシック様式を鑑賞できる、街で最も古い教会とされています。

さらに、エドゥアルド・チジーダ作の『ペイネ・デル・ビエント』（風の櫛）やホルヘ・オテイサ作の『コンストゥルクシオン・バシーア』（空の建築）を訪ねて、海の力強さに抗う現代美術の二大彫刻も鑑賞してみましょう。

展望台

街と夕焼けの眺望を楽しむなら、コンチャ湾の両端にある山に登ってみましょう。イゲルド山の頂上にあるテラスからは、ドノスティア/サン・セバスティアンを象徴する絶景に出合えます。

360度の眺望を楽しむなら、ウルグル山展望台を目指しましょう。山頂にはモタ城やダマス砲台、バルアルテ展望台があります。

ドノステア/サン・セバスティアンの夜を楽しむ

ドノステア/サン・セバスティアンの夜の楽しみ方を、個性豊かな3つの地区ごとに紹介します。人が多く賑やかな雰囲気のある旧市街では、さまざまなジャンルのバルでの飲み歩きがおすすめです。

ブエン・パストール大聖堂の裏には、レジェス・カトリコス通りがあります。モダンな店にオルタナティブな音

楽が流れ、街で最もシックな雰囲気漂います。遊歩道となっているこの通りは、テラスに腰を下ろしてカクテルを楽しむのにぴったりです。

グロス地区には、落ち着いた雰囲気のあるバルやバーが集まっており、飲み物片手にゆっくりとおしゃべりを楽しめます。

サドノステア/サン・セバスティアン周辺のおすすめスポット

バスク地方には、その他にもたくさんのおすすめスポットがあります。ドノステア/サン・セバスティアンに滞在しながら、日帰りで足を延ばすことができるスポットをいくつか紹介します。

コスタ・バスカ(バスク沿岸部)

60kmに及ぶギプスコア県の海岸線をめぐり、カンタブリア海の荒波が打ち付ける迫力満点の断崖を見に行きましょう。小さな港町のビーチを訪ねたり、海辺ならではの食事に舌鼓を打ってみませんか。カンタブリア海とバスク州の山間部の間に位置し、ムトリク、デバ、スマイアの3つの市町村にまたがるジオパークもおおすすめです。



アルゴリ・ビーチ
スマイア

オンドリビア - フエンテラビア (ギプスコア県)

軍事拠点であった歴史を彷彿とさせる紋章を残す建物や、立派な邸宅が立ち並ぶ市街地を歩いてみませんか。色鮮やかな家並みが美しいラ・マリーナ地区を散策するのもよいでしょう。

ビルバオ



ビルバオ・グッゲンハイム美術館
写真: lakov Filimonov/123rf.com

建築家フランク・ゲーリーが設計を手掛けたビルバオのグッゲンハイム美術館を訪れましょう。20世紀後半の最高傑作と称されるこの建築は、工業都市から観光都市へと見事な変貌を遂げた、ビスカヤ県の県都のまさに“旗艦”です。旧市街に軒を連ねるバルで楽しむ、ピンチョスの食べ歩きもおすすめです。

ビトリア-ガステイス

文化財に指定されている旧市街には、中世の面影が残されています。昔の同業者組合が置かれていた街角を抜けると、修復中でありながらも一般公開を続けるサンタ・マリア大聖堂があります。「工事中につき見学可」の看板は、小説『大聖堂』の続編である、『大聖堂-果てしなき世界』を書くにあたり、作家ケン・フォレットにインスピレーションを与えました。バスク州の州都で、自然豊かな公共スペースの多さから、スペインを代表する緑の街としても有名です。

リオハ・アラベサ

美しい村々のワイナリーを訪ねましょう。100年以上の歴史を誇る老舗から、有名建築家が設計した前衛的な佇まいをのワイナリーまでさまざまです。見学だけでなく、ワインの試飲や購入も可能です。

バレンシアガ博物館



ヘタリア出身の有名デザイナー、クリストバル・バレンシアガの博物館です。小高い丘の上に建つアルダマール邸に併設された建物で、その功績を鑑賞することができます。

サガルドエチェア・シードル博物館

アスティガラーガの町を訪れて、シードルの世界に迫りましょう。醸造所ではりんご酒の醸造過程を案内してくれます。

チジーダ・レク美術館

エルナニの町近郊にある、サン・セバスティアン出身の彫刻家エドゥアルド・チジーダ(1942-2002)の美術館は、チジーダが改築したバスク建築の屋敷にあります。自然に囲まれた11ヘクタールの敷地内には、40点ほどのチジーダの彫刻が展示されています。

アクセス

ドノステア/サン・セバスティアンは、世界各都市とさまざまな移動手段でつながっています。

列車

列車を利用すれば、マドリードやバルセロナを含むスペインのほとんどの都市からドノステア/サン・セバスティアンへアクセスが可能です。また、パリやリスボンなどの国外の都市からの列車も乗り入れています。

飛行機

半径100km以内に4つの国際空港があります。市内から20kmに位置するオンダリビアのサン・セバスティアン空港には、国内線・国際線が発着しており、ドノステア/サン・セバスティアンと空港を約25分でつなぐバスが運行しています。市内から100kmにはヨーロッパ路線が発着するビルバオ空港とビトリア空港、そして40kmにはフランスの航空会社と国際線が発着するビアリッツ空港があります。

自動車

サン・セバスティアンへ自動車で行く場合は、国道A-1 (Madrid-Irún)、高速自動車道AP-8 (Bilbao-Irún) またはA-63 (París-Irún)、高速道AP-15 (Pamplona-San Sebastián) からアクセスが可能です。

ドノステア/サン・セバスティアンでの移動手段

サン・セバスティアンには、市内・近郊の移動に便利な交通機関が整っています。

バス

Dbus 社の市内バスを利用すると、市内の各所を快適に巡ることができます。ホームページで路線をご確認ください。また、市内の観光名所付近の15カ所のバス停をまわる観光周遊バスもおすすめです。

近郊列車

ノルテ駅から発着する近郊列車を利用すれば、サン・セバスティアン周辺地域を気軽に訪ねることができます。

自転車

市内には全長30kmに及ぶ自転車専用道路が整備されているため、自転車での移動も安全です。レンタサイクルを利用しましょう。

独自の言語であるエウスケラ語 (バスク語)

エウスケラ語とは、カステジャーノ語 (スペイン標準語) と並び、バスク州に定められた2つの公用語のひとつです。エウスケラ語はヨーロッパで現在用いられている言語の中で最も古く、その起源は明らかになっていません。

ドノステア/サン・セバスティアンを歩くと、スペイン語とエウスケラ語の両方で表記された標識を見かけることでしょう。



サン・セバスティアン空港



詳細：

ドノスティア/サン・セバスティアンの観光案内所

住所：Boulevard Alameda, 8, 20003

DONOSTIA / SAN SEBASTIÁN

電話番号: +34 943 48 11 66

www.sansebastianturismoa.eus

スペイン政府観光局公式サイト

www.spain.info



X @spain

Instagram @spain

Facebook Spain.info

YouTube /spain

TikTok @visitSpain